

楽しく、子どもの心が動く漢字との出会い

一日一漢字

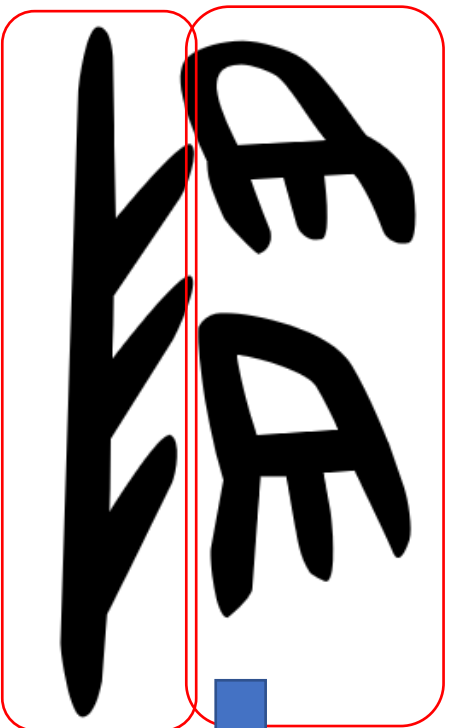
「毎日1漢字10分」の学習を続けることで、無理なく漢字を学ばせることができます。

この漢字は何だ？

下向きの足の形



尗 コウ



降 コウ

冫 コウ



はし コウ

「降」コウは、神様が天からおりてくる

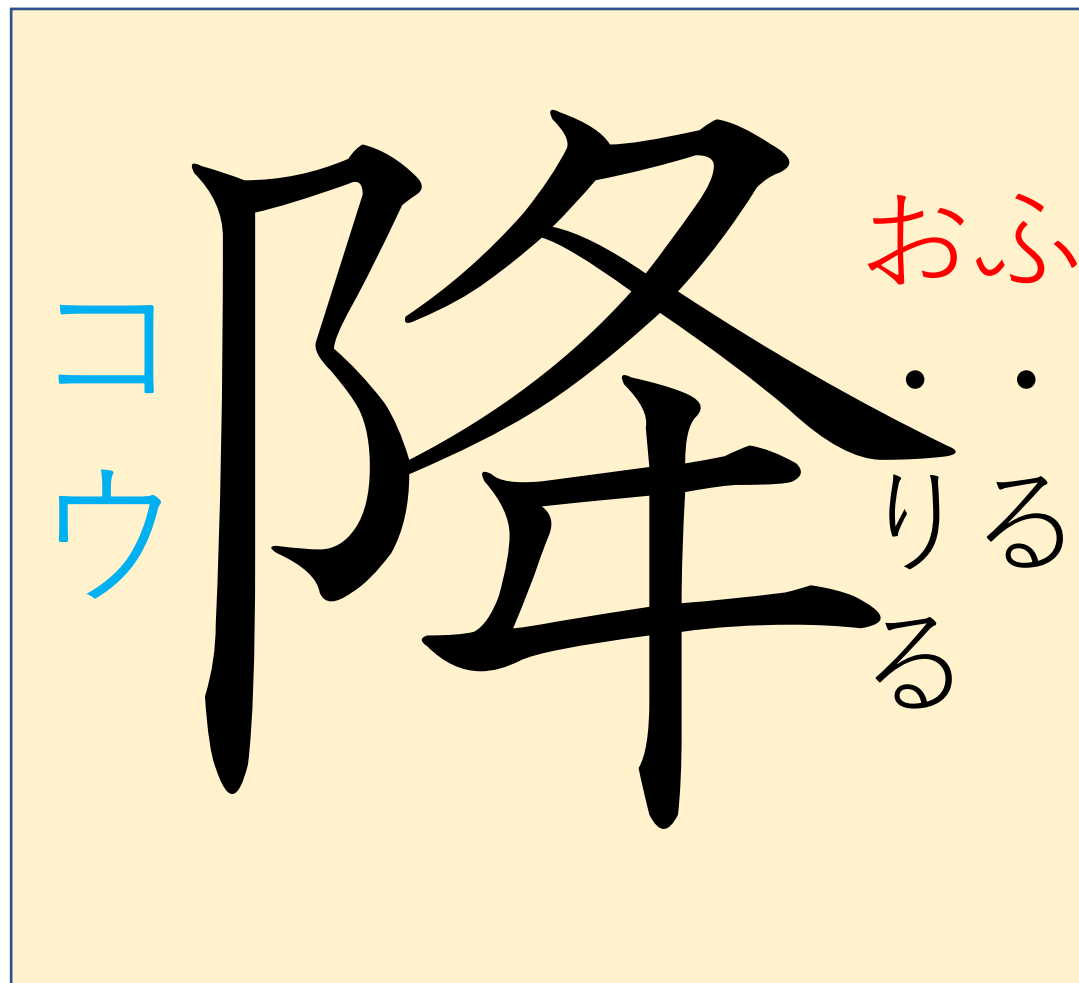
ことをあらわし、

「くだる・おりる」の意味に

使われるようになった。



降水確率
降コウ水スイ確カク率リツ



降おりる

雨が降ふる

降

電車でんしゃを降おりたら

雨あめが降ふっていた



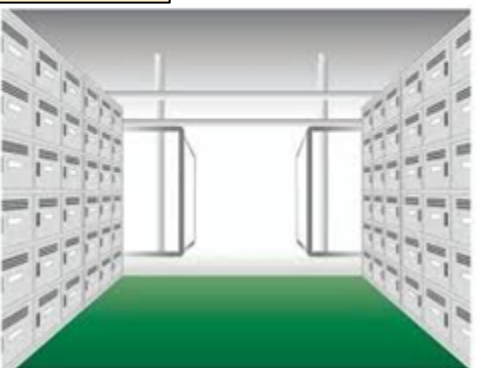
雪ゆきが降ふって辺あたりは一面銀世界いちめんぎんせかい。



飛行機ひこうきが急降下きゅうこうかする。



昇降口しょうこうぐちに下駄箱げたばこがある。



この漢字を使って
みんなも文を考えてみよう。

ひつじゅん おぼ
筆順を覚えよう



◎「一日一漢字」で大切にしてもらいたいこと

○教師と子ども、子どもと子どもの
コミュニケーション力を耕す場でもある

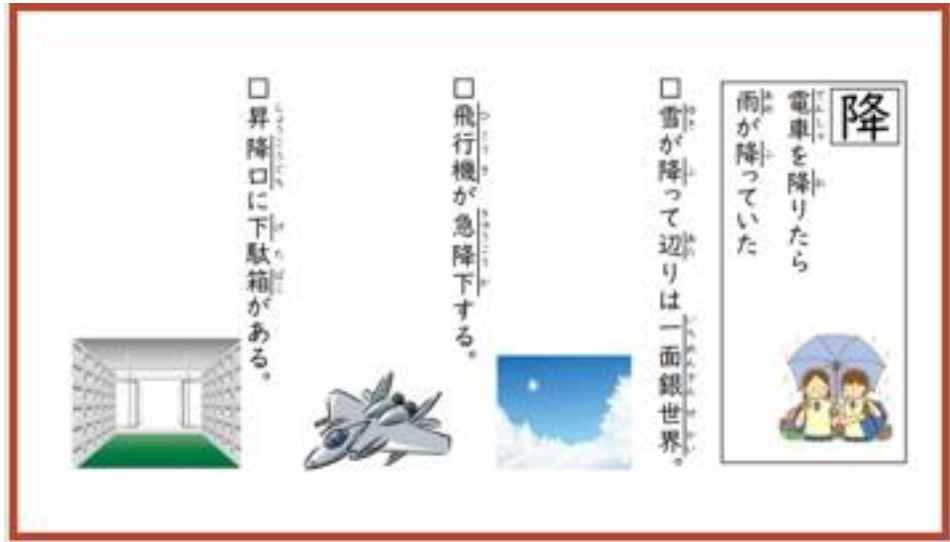
◎動画を適宜止め、子どもと語り合いながら進めること

■ なりたち



◎子どもといっしょに謎解きを楽しむ

■ 文例(漢字音読名人の例文)



その漢字を使った基本的な文例を知る。

①教師のリードで一文ずつ斉読

※「意味の分からない言葉は無い？」

「昇ったり降ったりする場所だから『昇降口』だね。」
などと字義に沿って説明することを基本に置く。子どもはそういう視点で熟語を見るようになる。

◎ 文中の言葉の意味を確かに知ることで、
この後の「漢字音読名人」の音読練習が確かなものになる。

■ 文づくり

この漢字を使って
みんなも文を考えてみよう。

◎子ども同士の主体的な学びを引き出す、「一日一漢字」の最重要部分

①友達と一緒に考えてみよう(1分)

- ・一人では考えつかない子も、みんなとやれば考えやすい

②「今日はこの列(班)の人言って」と指定発表(2分)

- ・どの子にも発言の機会を保障する。

③子どもの考えた文のうち、音・訓2例を小黒板に板書。



④帰りの会でもう一度読む。

降

雪が降って今日は寒い。

明日の降水確率は80%だ。

筆順



◎最初の出会いが大事。

間違って覚えて筆順は、矯正が難しい。

◎筆順に意識を集中させるための手立て

みんな立って。

腕を大きく使って体全体で書こう

目をつぶっても書ける自信がいたら座ろう。

正しい筆順になっているか、隣同士で見合いっこしよう

1 「一日一漢字」の指導で必ず出る問題

●1日1漢字ペースでは時間が足りない

1学期の提出漢字 光村版 3年 95字 4年 99字 5年 88字 6年 87字

1学期の授業日数(7月上旬まで) 約60日

◎スタートは一日1漢字、慣れてきたら一日2漢字、指導の目処がつけいたら一日1漢字ペースに戻して進める。

※2学期以降は、「一日1漢字ペース」で行ける

◎子どもの側の負荷を配慮した指導を心がけること